

日本聖公会 管区事務所だより

日本聖公会管区事務所
162-0805 東京都新宿区矢来町 65
電話 03 (5228) 3171 FAX 03 (5228) 3175
発行者 総主事 司祭 矢萩新一

「慈しむ心を育むには」

—世界宗教者平和会議 50 周年を経て—

管区事務所総主事 司祭 エッサイ 矢萩新一

先日、WCRP（世界宗教者平和会議）日本委員会が1970年の創立から50年を迎え、第1回世界宗教者平和会議と同じ京都国際会館を会場に記念式典が行なわれました。これからの10年・100年・1000年を見据えて、「あらゆるいのちと尊厳を守るコレクティブ・インパクトをめざして～誰一人取り残さない世界に変革する～」と題したアジェンダ2030が策定されました（全文はWCRPのホームページで公開されていますので、ぜひご覧ください）。日本に生きる宗教者として、違いを認め合いながら、過去の反省の上に立つ平和という点でつながり、手を携えて共に祈り行動してこられたことに感謝します。

50年間大切にされてきた第1回会議の理念は、「宗教者は、人類一人ひとりが地球家族の一員として根本的に尊厳にして平等であることを再確認し、宗教的霊性が究極において憎悪・敵意・利己心に打ち克つという信念を共有し合い、平和の担い手として協働する特別の責務があること」、「宗教者は、しばしば、自らの宗教的理想と平和への責任に背いてきたことを反省し、また、平和の大義に背いてきたのは宗教ではなく、宗教者であることを自覚し、これを平和への取組みの基本的姿勢とすること」、「宗教者は、世界の平和を脅かすさまざまな現実を凝視し、貧しき人々、虐げられた人々、戦争により生命、財産、自由を蹂躪された人々など、力なき、声なき人々に代わって、国際機関をはじめ社会のあらゆる部門に現状を認識させ、さらに連携を図りつつ、平和の呼びかけを行うこと」です。50年が経った今でも色あせない、大切な視点です。そして今、地球環境の危機、急激な科学技術の発展、極端な貧富の差など、私たちが大きな転換点に立たされていることを認識し、「誰一人取り残さない」というSDG'sの目標にも呼応しながら、自然を含むあらゆるいのちを慈しみ（ケア）の心で包み込み、祈り行動することが呼びかけられています。

地球に暮らす生物の中で、互いに配慮して食べ物を分かち合い、集団で子どもたちを育てられるのは人間だけだという話を記

□会議・プログラム等予定

(2021年11月25日以降・前回未掲載分)

10月

- 21日(木) 収益事業委員会 [+Web]
- 21日(木) セーフ・チャーチ WG 会議 [Web]

11月

- 8日(月) 宣教協議会実行委員会 [Web]
- 10日(水) 法憲法規委員会 [Web]
- 11日(木) セーフ・チャーチ WG 会議 [Web]
- 18日(木) 宣教協議会実行委員会 [Web]
- 21日(日) 青年委員会 [Web]
- 25日(木) 主事会議 [管区事務所]
- 29日(月) 年金委員会 [+Web]

12月

- 2日(木) 宣教協議会実行委員会 [Web]
- 3日(金) 常議員会 [管区事務所]
- 4日(土) 各教区財政担当者連絡協議会 [+Web]
- 6日(月) Zoom カフェ「原発はやめよう」
- 6日(月) 正義と平和・原発問題プロジェクト [Web]
- 7日(火) 正義と平和・沖縄プロジェクト [+Web]
- 9日(木) セーフ・チャーチ WG 会議 [Web]
- 10日(金) ウィリアムズ主教記念基金運営委員会 [Web]
- 11日(土) 各教区人権担当者会 [Web]
- 28日(火) 法憲法規委員会 [Web]

1月

- 10日(月) 各教区青年担当者の集い [Web]
- 11日(火) ～12日(水) 各教区正義と平和担当者会 [管区]

(次頁へ続く)

※管区事務所は10月25日より当面の間、就業時間を平日(月曜日～金曜日) 10:00～17:30 といたします。

☞管区事務所冬期休業

12月30日(木)～1月5日(水)まで冬期休業いたします。よろしくお願ひいたします。緊急の場合は総主事まで。

念講演の中で聞きました。コロナ危機の中で、3密を避けた生活をせざるを得ない経験をしてきた私たちですが、食卓を囲み、誰かのために皆で祈り、慈しむ心を育てることは、教会がずっと大切にしてきた信仰生活の姿でもあります。慈しみの心は、バーチャルの世界や人工知能では育ちえず、顔と顔、目と目、心と心を合わせる密な関わりがやはり必要で、これからも宗教者が大切にしていかなければならない要素であることを改めて思われます。喜びや悲しみを分かち合う密な関りが回復されていきますように、イエスさまのみ跡に従う慈しみの心を持ち続けることができますようにと祈り、クリスマスを迎える準備をしたいと思いをします。



(前頁より)

- 17日(月) ウィリアムズ主教記念基金基金委員会〔立教〕
- 31日(月) 財政主査会〔管区〕

<関係諸団体会議・他>

- 11月26日(金) 東京都宗教連盟法人事務研究協議会〔Web〕
- 26日(金) 聖公会生野センター30周年連続セミナー〔Web〕
- 29日(月) 同宗連常任会議〔京都〕
- 30日(火) 不活動宗教学法人対策会議〔Web〕
- 12月10日(金) 日本キリスト教連合会常任委員会〔市ヶ谷〕
- 14日(水) 同宗連特別委員会拡大会議〔京都+ Web〕
- 1月20日(木) NCC 役員会〔Web〕
- 27日(木) 外キ協運営委員会〔早稲田〕
- 28日(金) WCRP 新春学習会〔+ Web〕
- 28日(金) 外キ協全国協議会・全国集会〔早稲田〕

□常議員会

第65(定期)総会期第8回 2021年8月6日(金)

<主な決議事項>

1. 年金減額案策定のための調査に関して、減額案策定と改定後の年金額確定のために、聖公会年金受給者に対して厚生年金などの受給額調査の実行を承認した。
2. 聖公会センター(管区ビル)の契約更新(管区と東京教区)に関して、牛込聖公会聖バルナバ教会閉鎖に伴う文言変更等を含め更新することを承認し、礼拝堂を含む今後の聖公会センターの用い方などについて検討を開始することを承認した。

次回以降会議:10月25日(月)、12月3日(金)

第65(定期)総会期第9回 2021年10月25日(月)

<主な決議事項>

1. コロナ禍対策特別支援金および総会の定めた主日信施によって支えられる活動への補填に関して、昨年と同様に会議費などが削減される見込みであり、教区分担金Iの10%(昨年は1か月分)を還元することを承認した。また、主日の信施によって支えられる働きに、過去3年平均相当額に補填することを承認した。
2. 聖公会センター(管区ビル)の契約更新(管区と東京教区)に関して、その内容を確認し、2021年11月20日付での契約更新を承認した。
3. 2021年度統計報告および2023・2024年度教区分担金Iに関して、各教会・教区の統計

報告における礼拝出席者数や執行回数、現在堅信受領者数は法規通りの集計を行ない、各教会の選挙名簿や各教区の分担金算出の集計については、コロナの影響前(2019年末)の人数から逝去者や転出入者を差し引きするなど、各教会・教区の牧会的配慮・判断に委ねることとした。教区分担金Iの算出根拠として、コロナの影響前(2017～19年度)の3年平均から算出することを承認した。

4. 東日本大震災の余震で被災した東北教区の教会・施設の修復に関して、それぞれの費用の見積もりなどを確認し、篤志家からの献金を充てることを承認した。

次回以降会議：12月3日(金)、2022年2月14日(月)

□各教区

北海道

- ・第80(臨時)教区会 11月3日(水・祝) 次期教区主教選挙の件：3名の候補者の推薦があり、10回の投票が行なわれ、司祭 マリア・グレイス笹森田鶴師(東京教区)が選出された。

東京

- ・聖職按手式 12月18日(冬期聖職按手節土曜日) 14時～ 聖マーガレット教会 司式：主教 フランシスコ・ザビエル高橋宏幸 説教：司祭 ロイス 上田亜樹子 執事按手志願者：聖職候補生 ヒルダ藤田美土里

中部

- ・聖職按手式 12月18日(冬期聖職按手節土曜日) 10時半～ 岐阜聖パウロ教会 司式：主教 アシジのフランシスコ西原廉太 説教：司祭 パウロ佐々木道人 司祭按手志願者：執事 ヨハネ相原太郎

□管区

*お詫びと訂正

『2022年度 教会暦・日課表』

◆聖餐式聖書日課 C年

5月8日(日) 復活節第4主日、旧約聖書：(誤)

使 13:15-16, 26-33

民 27:(34-39) または 12-23

⇒ 正)

使 13:15-16, 26-33(34-39) または

民 27: 12-23

◆聖書日課・詩編 第2年

2月22日(火) 顕現後第7主日の週の火曜日が欠落しています。

2月22日(火)の聖書日課・詩編は以下の通りです。

2/22(火) 祭色：緑、教会暦名：なし

朝の礼拝

詩編 (120), 121, 122, 123

第1日課 箴 4

第2日課 ヨハ 11:30-44

夕の礼拝

詩編 124, 125, 126, (127)

第1日課 ルツ 1:15-22

第2日課 Iヨハ 4:7-21

お詫びいたしますとともに、お手数をおかけして大変恐縮ですが、お手持ちの日課表と聖公会手帳への加筆・訂正をお願いいたします。



†逝去者 靈魂のパラダイスにおける光明と平安を祈ります。

司祭 イザヤ浦地洪一(京都・退) 11月5日(金) 逝去(85歳)

司祭 イグナシウス相澤守(京都・退) 11月10日(水) 逝去(78歳)

《人事》

北海道

司祭 ノア上平 更	2021年10月31日付	新札幌聖ニコラス教会及び札幌聖ミカエル教会副牧師の任を解く。
	2021年11月1日付	新札幌聖ニコラス教会牧師に任ずる。
司祭 コルベ下澤 昌	2021年10月31日付	新札幌聖ニコラス教会管理牧師の任を解く。

北関東

司祭 パウロ藤井文宏	2021年10月30日付	水戸聖ステパノ教会牧師、日立聖アンデレ教会管理牧師の任を解く。
	2021年10月31日付	主教座聖堂付とする。
	2021年11月3日付	願いにより休職を許可する。
司祭 パウロ矢萩栄司	2021年10月31日付	水戸聖ステパノ教会および日立聖アンデレ教会管理牧師に任命する。
執事 バルナバ岸本 望	2021年10月31日付	水戸聖ステパノ教会および日立聖アンデレ教会の協力を命じる。

東京

司祭 ドミニカ朴 美賢	2022年4月1日付	沖縄教区への出向期間の3年間延長を命じる。 (期間:2022年4月1日から2025年3月31日まで)
司祭 グロリア西平妙子	2022年4月1日付	沖縄教区より東京教区への3年間の出向を受け入れる。 (期間:2022年4月1日から2025年3月31日まで)

新型コロナウイルス (COVID-19) に関連する 各教区の対応

北海道教区 原則として礼拝(公禱)を行なうが、各教会で判断

- ・教会での礼拝は主日・週日いずれも定時に行ない、誰でも参加可能。
- ・礼拝に関して不安や恐れがある信徒は自宅で礼拝を守ってもよい。

東北教区 礼拝(公禱)の再開

- ・引続き十分な感染対策を取ること。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。
- ・全県警戒は緩めないこと(No.8-2 遵守のこと)。
- ・11/28(降臨節第1主日)より「二種陪餐」の原則に戻す、ただし当面の間「過度的対応」として司式聖職も会衆も「インテンクション

とする。

- ・11/23 第105(定期)教区会は会場盛岡にて集合会議とする。

北関東教区 礼拝(公禱)の再開または休止

- ・各教会・礼拝堂で協議し、地域社会と共同体の状況により適切な対応を講じる。
- ・葬儀は十分な感染予防対策の上で実施。

東京教区 礼拝(公禱)の再開

- ・緊急事態宣言解除後、11/22 現在、教区の全33教会(含礼拝堂)で礼拝再開。
- ・葬儀および礼拝堂の公開などは、感染防止の対策の上、それぞれの教会・礼拝堂の状況にあわせて、実施。

- ・インターネットによる礼拝等の配信をおこなっている教会がある。
- ・クリスマス礼拝については各教会によって持ち方が異なる。
(出席者数を制限、主日に行なう、イヴ礼拝は休止等)

横浜教区 礼拝(公禱)の再開

- ・「礼拝指針」(更新・2021年版)の徹底。
- ・「新型コロナウイルス感染者発生時の教会対応ガイド」の順守。
- ・在籍外の教会、また教区を越えての礼拝出席は控える。
- ・ウイルスの感染拡大への対応として、それぞれの教会または地域の感染状況により、各教会で礼拝の公開休止の判断をする。

中部教区 礼拝(公禱)の再開

- ・主日及び週日の礼拝再開、休止については『礼拝再開に関するガイドライン』に基づき各教会で判断。
- ・緊急事態宣言下のエリアにある教会は原則礼拝等休止。
- ・各教会の判断に基づき、主教の許可のもと二種陪餐を再開。

京都教区 各教会で判断

- ・緊急事態宣言は解除されたが、引き続き感染防止策は行なう。
- ・主日礼拝の方法は各教会の判断としている。

大阪教区 礼拝(公禱)の再開

- ・緊急事態宣言・まん延防止等重点措置の全

面解除を受け、10月から主日礼拝・聖餐式公開の中止を解除。

- ・諸集会の再開も教会委員会等で検討を開始。

神戸教区 礼拝(公禱)の再開

- ・教区の自粛基準に基づき、各教会委員会と協議し、自粛の場合は教区主教に相談している。
- ・主日礼拝は聖餐式(一種陪餐または前部)または、み言葉の礼拝を行なっている。

九州教区 礼拝(公禱)の一部休止

- ・無理に主日礼拝に来ることをお勧めしない(体調の悪い方・公共の交通機関で教会に来られる方など)。

沖縄教区 礼拝(公禱)の再開

- ・10月からの礼拝の再開と持ち方は各教会の判断に委ねる。

管区事務所 勤務体制の変更

- ・10/25より当面の間、勤務体制を平日(月曜日～金曜日)10:00～17:30 全職員出勤とさせていただきます。

* 毎月1回、情報更新をいたします。管区のHPにも掲載(英語版もご用意)しておりますので、ご活用ください。

(2021年11月26日現在)

口日本聖公会『管区事務所だより』購読のお願いと購読料について

日本聖公会の宣教理念と管区・各教区の実践活動、また世界各国の聖公会の動向を毎号の誌面での確にお伝えする広報誌『管区事務所だより』の年間購読料について、通信費・紙代・インク代の値上がりなど、などさまざまな事由のため、2020年より購読料改訂を実施させていただくこととなりました。年間の購読料金は、2020年2月以降のお申込みから、個人

1,200円、1か所につき2部以上ご希望の場合は1部1,000円といたします。ご不明な点等ございましたら、管区事務所宛に電話にてお問い合わせください。余儀ない事情をご理解いただき、今後とも変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

管区事務所 電話：03-5228-3171

■首座主教クリスマスメッセージ

愛の感激

— コロナ禍のクリスマスに思うこと —

「闇の中を歩む民は、大いなる光を見 死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。」

(イザヤ書9章1節)

九州教区に来て8年になりますが、わたしが大切にし、また楽しみにしている礼拝の一つは熊本市にあるリデルライトホーム降臨教会礼拝堂で春と秋に行われる記念祭（逝去者記念式）です。180余名の方々を記念し、毎回、お名前を読み上げてお祈りします。この180余名の方々の多くは回春病院で生活されたことのある方々です。

1890年にCMSの宣教師として熊本に派遣されたハンナ・リデルは、熊本市内にある本妙寺の境内に暮らすハンセン病者と出会い、彼らのために働くことを決意します。また一緒に派遣されたグレース・ノットも共に働くことを決意します。リデルはその年のCMSへの年次報告にもハンセン病患者への医療事業の必要性を訴えます。しかし当時のCMSは第五高等学校（現在の熊本大学）の学生たち、また地域の人びとに広くキリスト教を伝えることを方針としており、受け入れられませんでした。それでも二人は病院建設に向けて準備をすすめ、1895年11月に現在リデルライトホームがある場所に回春病院を開設します。翌年にはリデルの姪エダ・ライトも来日して協力します。リデルは1932年2月に逝去しますが、その後1941年に国策によって回春病院にいた人々も国立療養所に強制隔離され、回春病院は閉鎖されるまでライトを中心に回春病院の働きは続きました。

二三日風邪をひいて寝込む人がいると朝夕の祈りでその人のために祈るほど、回春病院では一人ひとりが本当に大切にされたようです。回春病院での生活がどのようなものであったかをよく現わしている言葉があります。

「回春病院の特異性、それは設備でも待遇（物質上の）のみではない。愛である。愛の家族制度である。」誰か吾等を指して不幸なりと云う。吾等、富なく、名なく、麗しき姿はなくとも、誇らしき愛の感激のあるなり。」

リデルのことを「お母さま」と呼ばずにいられない程に愛された入所者の方々と、一人ひとりを我が子のように慈しむリデルさんたちは互いに深い愛の絆で結ばれていたのです。ハンセン病患者の皆さんは、家族と別れ、故郷を捨て、根深い偏見・差別によって云い知れない様々な苦しみ、悲しみ、絶望を味わってこられたでしょう。しかし回春病に来て慰めと喜びで満たされ、生の尊厳を取り戻し、誇りをもって生きたのです。

リデル、ノット、ライトの働きを思う時、主イエス様がなされた「見失った羊」のたとえ(ルカによる福音書15章1節以下)を思い出します。九十九匹の羊を残しても、見失ったたった一匹の羊を見つけ出すまで捜し回り、見つけたら喜んで肩に乗せて帰り「見失った羊を見つけたので一緒に喜んでください」と近所の人たちを呼び集めて喜ぶ羊飼いです。

第五高等学校の学生たちや英語や西洋文化に関心のある人たち(経済的にも恵まれ社会的地位もある人たちが多かったでしょう)にキリスト教を伝えることも大切な働きであり、彼女たちがその働きに専念したならばきっと多くの実りを得たかもしれません。しかし社会から見捨てられ、片隅で生きているハンセン病患者の一人ひとりに仕えることを選んだのです。

この一年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染によってこれまで見えていなかった経済的格差が目に見えるようになり、外国人留学生、同労者、非正規雇用の労働者、若者、シングルマザーなど多くの人たちが経済的にも精神的にも困難な状況にあります。また人と会うことが制限されて孤立している高齢者の方が多くおられます。きっと教会の仲間や身近なところにもおられるでしょう。今年のクリスマスには、誰か一人にでもいいのでクリスマスの喜び、小さな灯、ささやかな愛の感激を届けたと思うのです。

主イエス・キリストのご降誕の喜びが皆さまの上に豊かにありますようお祈りいたします。

2021年クリスマス

首座主教 ルカ 武藤謙一

新ヴァイアル山荘 落成！

東北教区 十和田湖畔施設活用グループ

リーダー 司祭 長谷川清純

ヴァイアル山荘は、1918年、アメリカ人宣教師アンデルス司祭が現在地に宅地を購入し家屋を建て「招仙閣」と命名し、1934年、福音史家聖ヨハネ修士会（院長：ヴァイアル主教）が譲り受けて黙想の場所とし、1976年には土地と建物が東北教区に寄付され、その後当地を愛されたヴァイアル主教の名を後世に残すため「ヴァイアル山荘」と改名されました。

ここで、すべての年齢層の人たちが祈り・交わり・憩い・研修の場として利用してきましたが、2000年代に入り建物の老朽化が著しく利用者が減少する中、2020年と本年と2回の教区会で改築を決議しました。築103年の山荘は新しく木造平屋建て、床面積74.52㎡、建築面積91.09㎡、総工費約2,500万円の現代風な山小屋に生まれ変わりました。



生まれ変わった山小屋

今回の改築に当たり、東北教区が2019年に設定した「宣教方針 ミッション・ステートメント」の精神に則り、本施設の立地条件を与えられた恵みとして捉えてこの地を献げ、宣教の業として当地に「開く」器に換えるべく建て替えるを計画しました。それゆえ「やすみにきませんか」をテーマにし、「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう。（マタ

イ11:28）」を指導聖句としました。「すべて疲れた人の休息の場として」の新しいヴァイアル山荘を夢見て建替えがなされたのです。ここが、東北教区の休息施設として身体と心を優しく癒やす「場所」になることを願って止みません。

工事経過は、6月2日ヴァイアル山荘の祝福を解く祈りに始まり、6月18日解体工事開始、6月30日起工式、10月13日施工検査・引渡しが行なわれ、工期内完工の順調さは設計のNAKA建築設計室・中川義明氏と施工の伊藤羽州建設の誠心誠意あるご努力によるものでした。また土地家屋調査士の加藤靖隆氏は1年以上にわたり、根気よく現地調査と図面調査に当たり、それまで不確かだった境界が確定されました。

去る10月23日、めでたく改築工事が竣工し、吉田雅人主教司式、参列司祭たち補式により落成式を挙行致しました。これもひとえに日本全国の多くの皆様方からのご支援のお蔭と、また神様からの大きなお恵みと存じて心から感謝申し上げます。

コロナ禍で、落成式にはご支援をいただいた多くの皆さま方にご参集いただくことは叶いませんでしたが、十和田湖畔施設活用グループのメンバーをはじめとした参列者の詩編交唱の音が静かに建物内外に広がり、喜びと感謝の祈りが湖面を渡るようでした。式後、設計者、施工者と土地家屋調査士に感謝の品々を贈呈しました。ナザレ修女会からの祝電も披露されました。

この日、式の前後は雨でしたが落成式の際は晴れて、開式前に一度虹が出て、さらに式中もう一度虹がかかり、神様の祝福と前途へのお恵みの約束と受け止められて、一同熱い思いになり感激しました。

この後は、約半年間の長い冬ごもりに入りま



落成式前・式中に顕現した虹

全国の信徒、園児、日曜学校生徒、学生、家族、教役者等々それこそ大勢の一人おひとりからのご寄付に対しまして本当に感謝いたします。また建築募金に対しましても絶大なご協力、誠に有り難うございました。しかし、建築資金はあと一步必要で、今後の管理運営のためにも引き続きご協力いただければ誠に幸いです。皆様のご理解と変わらないご支援を賜りますよう、心からどうかよろしくお願い申し上げます。

栄光在主+

落成式の日

す。一冬を過ごすことから新ヴァイアル山荘の新しい歴史・第2世紀の歩みが始まり、来年5月7日（土）開所式を行なって大々的にオープンする予定です。来春までに、ご利用案内やパンフレット等を準備いたしますので、皆様、是非奮ってご利用ください。

最後に改めまして、建築資金への力強いご協力に衷心より感謝申し上げます。殊に本年度の大齋克己献金を奉獻していただければ到底実現していなかった訳で、



世界の聖公会の動向

☆ロンドンの教会がバーチャル・リアリティによるアドベント礼拝を実施

☆アングリカン・コミュニオンにおける新たな任務 & ネットワーク・サポート・オフィサー

管区渉外主事

司祭 ポール・トルハースト

ロンドンの教会がバーチャル・リアリティによるアドベント礼拝を実施

世界中の人々が初めてバーチャル・リアリティ（VR）を通じてロンドンの教会の伝統的な礼拝に「参加」できるようになる。

初期キリスト教時代の古いタベの儀式の一つを再現した「光の祝福」が、このほど3D映像で撮影され、オンライン礼拝に新しい試みがなされることになった。

ロンドンのシティ地区にある聖ステューベン・

ウォルブルック教会で撮影された7分間の礼拝の様子は、特別なVR機器がなくても、あらゆるコンピューターやデバイスからアクセスできる。仮想空間で聖歌隊の中に「立つ」という体験ができ、礼拝中に360度の視野で探索することも可能である。

礼拝ではカンタベリー大主教のチャプレンであるトシン・オラディオ師が指揮を、ロンドンのセント・マーチン・イン・ザ・フィールド教会のアンサンブルが奏楽を担当している。

英国教会のデジタル部門責任者であるアマリス・コール氏は、次のように述べる。「パンデミックの期間中、多くの人々が地元の教会とつながり、オンライン礼拝やイベントに参加しています。今回の技術は、古代キリスト教の祈りを新たな聴衆に届けるというエキサイティングな機会を教会に提供しています。」

世の光であるキリストに感謝を献げる「光の祝福」は、初期キリスト教時代から行われていたとされる、夕べの祈り前のランプ点灯に由来している。

アングリカン・コミュニオンにおける新たな任務&ネットワーク・サポート・オフィサー

United Society Partners in the Gospel (USPG) のグローバル・リレーションズ・ディレクターであるレイチェル・パリー氏が、1月からアングリカン・コミュニオン事務局に加わるようになった。彼女は、24年間勤めたUSPGを離れ、新たな任務とネットワーク・サポート・オフィサーの職務に就く。

彼女の新たな役割は、アングリカン・コミュニオンの諸委員会とネットワークを通じて、地域のミッションに焦点を当てた支援を積極的に推進することである。また、アングリカン・コミュニオン事務局のプログラム・ディレクターをサポートして、コミュニオン内の管区、地域、機関での活動がより効果的に行なわれるようにすると共に、メンバー教会や教区と協力して、コンパニオン・リンク (Companion Link) を支援し、維持、成長させることが期待されている。

現在の職務においても、レイチェルは過去20年間にわたり、USPGと日本聖公会の間の主要な連絡窓口を務めていた。

2021年 墓地清掃 (青山霊園)・宣教師逝去者記念礼拝

管区事務所の恒例の行事として、今年も10月15日、秋晴れのもとに行ないました。主に感謝!

管区事務所 総主事・職員一同



宣教師に感謝して花束を



礼拝の様子



作業を終えて

(写真・大岡 基)

教会の声 / 読者の声

「教会の声 / 読者の声」欄への寄稿をお待ちします。内容・字数は自由。誌面の整理上、一部改稿することもあります。執筆者名・教会名を明記して郵便またはメールでお送りください。宛先は管区事務所・広報主事。
(com-sec.po @ nskk.org)

短歌 15 首 「預言の成就・馬小屋」 司祭 齊藤昭一 (退職・仙台)

人間の歴史を越えて計られし 神の御
旨イザヤ・ミカに記さる

天使告ぐ生まれる御子の名はイエス
自分の民を罪から救う名なり

イザヤ書に一人のおとめ身ごもりて
男の子を生むと記されたり

身ごもりしマリアとヨセフ共に行く
ベツレヘム指して難渋の旅

御子は永遠^{とわ}の昔の出生と計り知れざる
御業ミカ書に記す

長き旅疲れし二人宿もなく世の冷た^{つめ}
さに馬小屋に休む

ミカの書にベツレヘムの名記さるる
小さき名をも神は予知せり

馬小屋^{やす}に寐むマリア陣痛おきヨセフも
介助御子は生まれぬ

あらかじめ神の計画明らかに時は満ち
たり天使は告げぬ

健かに生まれし御子は布にくるまれ
飼馬桶^{わらね}の藁に寐かされた

ナザレにてマリアは婚約交わせしも
天使のお告げ驚くマリア

藁敷きし貧しき臥所^{ふしど}飼馬桶 栄光の御
子わらの如くなり

婚約者ヨセフは離縁^{りえん}しようとも夢にて
天使ヨセフに説けり

栄光の御子は生まれぬベツレヘム 天
使・大軍 神を讃えり

夢に見し天使のお告げ受け入れてヨセ
フはマリアを妻に迎えり



女性に対する暴力の根絶を 求めて祈る

日時 2021年11月28日(日) 17時～

司式 主教 高橋宏幸 (東京教区)

司祭 大岡左代子 (京都教区)

説教 司祭 三木メイ (京都教区)



礼拝を「東京教区聖アンデレ主教座聖堂ホーム
ページ」より動画配信いたします。



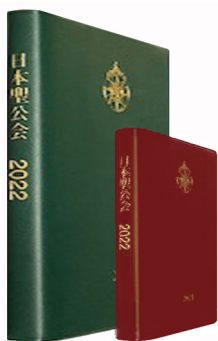
献金は別紙「アトウミャンマー支援」の働きのため
おさげくださいますようお願いいたします。

礼拝後の渡邊さゆりさんによるビデオメッセージもご覧ください。

世界の「ジェンダー暴力と闘う16日間キャンペーン」に連帯し、11月25日(女性に対する暴力撤廃の国際デー)から12月10日(世界人権デー)までの期間中の11月28日より、女性と少女へのあらゆる形態の暴力が根絶されることを願って、礼拝の動画配信を開始します。どうぞお祈りの時をともにしてくださいようお願いいたします。

〈問い合わせ先〉03-3431-2822

日本聖公会 女性に関する課題の担当者
正義と平和委員会・ジェンダープロジェクト
東京教区聖アンデレ主教座聖堂



☆日本聖公会
管区事務所責任編集

『聖公会手帳』 2022

各教区事務所・教務所の協力のもとに完成!

好評発売中

大判型 2,200円

ポケット版 1,200円

(税込)

ご予約はお早めにパイブルハウス
南青山(03-3567-1995) またはお近
くの書店まで!

- ✿ 背文字に金箔で「日本聖公会」を入れました。
- ✿ 読者アンケートから利用者の声を誌面に反映。
- ✿ 2022年度 教会暦・日課表を完全収録。
- ✿ 祈りのページを大幅に増補。

日本聖公会管区事務所ホームページ <http://www.nskk.org/province/>

☆「管区事務所だより」についての要望・寄稿などをメール、また郵便でお寄せください。